

(5) 総合評価シート(様式)

指定管理者制度導入施設の管理運営状況総合評価シート(令和4年度)

施設名	吹田市立千里山竹園児童センター	所管部室課名	児童部子育て政策室
所在地	吹田市千里山竹園2丁目1番5号	設置年月日	平成21年10月

1 施設の概要

(1)設置目的	次代を担う子どもたちが、「遊び」を通じて創造性や社会性、協調性を身につけ豊かな人間関係を育むことを目的とする。		
(2)規模、開館日等	【規模】 (構造) 鉄筋コンクリート造2階建 (敷地面積) 969.07㎡ (建築面積) 343.12㎡ (床面積) 1階 319.32㎡ 2階 206.20㎡	【開館日等】 (開館日) 毎日開館(5/3~5/5及び年末年始を除く) (開館時間) 4~9月 10時~18時	

2 指定管理者の概要

(1)指定管理者	吹田市立千里山竹園児童センター管理運営協議会					
(2)指定期間	令和2年4月1日 ~ 令和7年3月31日 (5年間)					
(3)選定方法	公募					
(4)指定管理者が行う業務内容	1 子どもの健全育成及び地域の子育て家庭への支援に関する業務 2 施設の管理運営に関する業務 3 施設の維持管理に関する業務 4 経営管理に関する業務 5 その他					
(5)指定管理者の収支		令和3年度		令和4年度		
		計画	実施結果	計画	実施結果	
	収入	委託料又は利用料金 (円)	25,890,000	25,890,000	26,080,000	26,080,000
		自主事業収入 (円)	0	0	0	0
		その他 (円)	4,200	4,200	4,200	4,200
	支出	管理経費 (円)	25,890,000	24,013,256	26,080,000	24,122,277
		自主事業 (円)	0	0	0	0
		その他 (円)	0	0	0	0
収支差額 (円)	0	1,880,944	0	1,961,923		

3 施設の利用状況

利用状況を示す指標		令和3年度		令和4年度	
		計画	実施結果	計画	実施結果
1	メイン行事参加者数 (人)	-	204	300	1,381
2	センターまつり参加者数 (人)	-	未実施	260	265
3	幼児教室参加者数 (人)	-	627	660	886
4	月間・週間行事参加者数 (人)	-	2,066	2,160	3,378
5	年間来館者数 (人)	-	8,752	12,000	13,756
6					
7					
8					

4 利用者ニーズの把握の状況

(1)把握方法	・利用者アンケートの実施(実施期間:令和4年10月15日～令和4年10月16日/回答者数:児童向け107名/大人向け38名)
(2)把握結果	児童向けアンケートの主な要望として、次のものがあった。 ・新規貸出図書の多岐にわたるリクエスト ・遊戯室でもドッジボールやその他のボール遊びをしたい。 ・みんなと一緒にドッジボール、サッカー、おにごっこ、ダンスをしたい。
(3)結果を受けての対応状況	・新規図書の購入時にリクエストを反映させた。 ・子どもたちの意見・要望については、具体的に何を望んでいるのか「こども会議」や日頃の活動の中で、更にきめ細やかなヒアリングを行っていく。

5 管理運営状況に対する評価

項目	評価
(1)市民の平等な利用の確保	使用許可申請書に関して、審査基準等に基づき、迅速かつ適切に使用許可を行っていた。また、専用使用許可申請書に関して、特定の団体や個人に偏ることなく、平等な利用を確保していることが確認できた。個人情報の保護については、制定している「個人情報取扱規程」及び「特定個人情報等取扱規程」や吹田市個人情報保護条例を遵守し、個人情報の保護の徹底に努めてることが確認できた。
(2)施設の効用の発揮	新型コロナウイルス感染症対策により、行事イベントが計画どおり実施が困難な状況において、感染対策を講じながら、利用者のニーズに合致した行事イベントの実施に努めていた。また、サービス向上のために地域住民等の協力を得ながら運営をしていることが、高い利用者満足度に繋がっていた。
(3)管理を安定して行う人員、資産その他の経営規模及び能力	館長、主任児童厚生員、児童厚生員以外に、事務処理を適切に行うための事務員を配置していることが、適正な経理事務に繋がっている。また、各役職における職責として、適切な役割分担がされていた。また、運営委員や多くの地域のボランティアの協力を得て、児童センターの運営を積極的に行っていた。
(4)施設の管理経費の縮減	自主事業や行事イベントの実施において、管理運営協議会役員をはじめ、多くの地域のボランティアの協力により管理経費が縮減がされていた。また、地域に居住する者を職員として採用することにより、通勤費が不要となり、人件費が縮減されていた。また、館内の蛍光灯の間引き、印刷物の裏紙利用などの経費削減に継続して取り組んでいた。
(5)地域人材の活用	保育士や教員の有資格者が必要な児童厚生員や事務処理を適切に行うための事務員について、地域に居住する方の中から採用しており、地域の人材活用を図っている。
(6)総合評価	管理運営体制、管理運営内容共に基本協定書や募集要項、事業計画書等に基づいて実施していることを確認し、改善を要する指摘事項は無い。また、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策による行事イベントの中止や開催内容の変更、人数制限等の制約がある中、様々な工夫や努力を行い、安心して利用できる施設として運営していることも高い利用者満足度に繋がっている。また、施設の管理運営に係る経営状況が健全であると確認できたことから、今後において、安定した管理運営が可能であると判断する。